




**「武生西地区お宝マップ」**  
2005年10月  
西地区  
自治振興会発行  
より抜粋してご  
紹介しています。

●レトロな建物コース  
●式部物語コース

**1 馬借街道沿いの畠中邸** 西地区お宝マップNO. 3



明治26年、広瀬町の馬場邸を移築したもので、屋根は登り梁形式、袖卯立が付き、下屋庇は斧(こうがい)といわれる横木が乗った板葺きになっています。



**2 式部七橋(1-7)** 西地区お宝マップNO. 54

河濯川に架かる河濯・城ヶ堀・鈴虫・岩永・千代鶴・平成・蛭子橋の欄干に、「源氏物語絵巻」「紫式部日記絵巻」をモチーフとしたレリーフがはめ込まれています。

紫式部は、越前国府となった父為時に伴われて下向し、1年余り過ごしたといわれています。

5 千代鶴橋 新造の龍頭頭首の船を下見する道長

1 河濯橋 中宮彰子に新築府を進講する紫式部

6 平成橋 御産養の盛儀をのぞき見て感激する夜居の僧

**3 丈生幼稚園** 西地区お宝マップNO. 39




引接寺境内にある丈生幼稚園は大正5年に設立された市内でもっとも古い幼稚園です。明治32年頃に建築された福井県警察部庁舎を、大正13年に移築改修し活用されています。

**6 ミドリスメーカー専門学校** 西地区お宝マップNO. 35




昭和初期、有明町にあったマーケット「日野食堂・味湾海」が県内初のアパートとして転身。その後、洋裁の専門学校として使用されていました。

**9 MODE 大井ビル** 西地区お宝マップNO. 13



昭和7年、全国的にも珍しい十銭均一のデパートとして開店した鉄筋コンクリート造りの建物。2階正面左の装飾アーチは建築当時のままです。

**4 辻家の赤レンガ倉庫** 西地区お宝マップNO. 43




昭和3年にふとんややきもの用綿を製造するための工場として建てられましたが、戦時下政府指導で業種統合、その後現在に至るまで倉庫としてつかわれています。

**7 総社大神宮** 西地区お宝マップNO. 33



総社は国司の巡拝、奉幣のために国内に祀られている神々を一社にまとめて祀ったもので、総社大神宮は府中城の拡張時に現在地に移されたといえます。

**10 格子が美しい余川邸** 西地区お宝マップNO. 17



記録によると、江戸末期に建てられた建物で、下屋庇の下に、板庇がついているなど、古い建物を品良く上手に使っている建物です。

**5 旧井上歯科医院** 西地区お宝マップNO. 38



明治41年建築。外壁全面を石積に似せたモルタル塗りで仕上げられており、防火性能を重視した建物。

**8 田中時計店** 西地区お宝マップNO. 14



伝統的な町屋の構えですが、ショーウィンドーや洋風デザインのカウンターが、時計店という当時の新しい業種の店構えを良く示しています。

**11 長屋門のある熊川邸** 西地区お宝マップNO. 28



通りに面して左右に蔵を持つ長屋門は、伝統的な住宅の整った構えを見せています。白漆喰と黒の連子窓、いた壁のコントラストも美しい。